

平成27年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	関市	学校名	関市立洞戸小学校		
校長名	興戸 浩道	対象学年	3～6年	人数	58人
活動名	ふるさと「ほらど」	時間数	3年～6年 15時間 3年、5年 45時間 4年、6年 40時間	継続年数	25年
題材	① 自然環境（河川・その他） [板取川 米づくり] ② 歴史（先人） [円空を知る] ③ 文化（芸能・芸術） [円空太鼓、円空彫り] ④ 地場産業（農業） [キウイ] ⑤ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 [福祉施設の訪問] ⑥ その他 () []				
複数年継続するための工夫改善	・どの活動も、地域の方の指導や協力なくしてできないことである。指導者リストを作り、誰に依頼すればよいか明らかにし、連絡を密にして取組を行う。 ・1年の終わりに全校で活動を発表する場を位置付ける。活動の振り返りをすると共に次年度への見通しをもたせる。指導者、地域の方々を招待し参観していただく。				
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと「洞戸」の自然や伝統文化を愛し、ふるさとを大切にし、誇りをもつことができる。 ・地域の人と関わる中で、地域の方の思いや願いに気付き、自己の生き方について考えるとともに、地域に貢献しようとする態度を養う。 <p>2 活動の概要</p> <p><3～6年> ○米作り：地域の方の思いや願いに気付き異年齢で協力して活動する。 地域の方とともに ・田植え ・草取り2回 ・稲刈り ・収穫祭でもちつき</p> <p><3年>○洞戸の名産「キウイフルーツ」：キウイに関わる観察や体験活動、自分の課題を調査することで、洞戸の名産に関心を持ち、調べたことをまとめ発信する活動を通して洞戸の良さを味わう。 ・キウイ畑の薫引き ・受粉作業 ・収穫 ・選果場の見学 ・キウイジャム作り</p> <p><4年>○わたしたちの板取川：放流体験・実施検査をすることで板取川に対する関心を持ち、自分の課題を調べ、川をきれいにする活動を考え実践する中で板取川をより大切にしようとする実践力を培う。 ・稚アユの放流 ・カワゲラウオッチング ・EM発酵液作り ・ごみ拾い</p> <p><5年>○洞戸の福祉：障がい者や高齢者、年少者と共に生きるための自分たちの課題を明らかにし、解決するための活動に取り組み、共に住みやすい洞戸をつくっていかうとする態度を育てる。 ・福祉施設の見学、訪問（交流） ・保育園への訪問（交流） ・高齢者、障がい者疑似体験 ・花づくり</p> <p><6年>○円空：洞戸に深く関わりのある円空について調べたり、円空太鼓を体験したりすることにより、それを守ろうとする人々の願いに気付き、洞戸を誇りに思い、地域に貢献しようとする態度を育てる。 ・円空調べ（洞戸円空館への見学） ・円空彫りの体験 ・円空太鼓の体験 ・円空シンポジウムで発表</p> <p>☆どの学年も、全校で行う「学習発表会」で、1年間の学習のまとめを発表する。</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末に全校で、活動でお世話になった地域の方や保護者を招待し発表会を行っている。児童は、毎年この会で自分たちの活動や思いを地域へ向けて発信している。 ・どの学年も、地域の方に指導していただきながら一緒に活動している。4年生は川掃除、5年生は花を栽培して福祉施設にプレゼントする等実践的な活動となるように工夫している。 <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <p>8月に開催された「円空シンポジウム」で6年生が「洞戸の自慢を紹介します」という発表を行った。児童は、自然（川、田）特産物（キウイ）伝統（祭り、太鼓）歴史・文化（円空）について発表した。3年生から学習していることを「自慢」と捉え、ふるさとへの誇りがもてるようになってきている。</p> <p>地域の老人会、農業団体等、多くの人とのふれあいから、地域の人への愛着と感謝の気持ちがもてるようになってきている。それが、発表会への招待状を書くことにつながっている。</p>					